



市長からの手紙✍️

## 市民の皆さまへ

ID100020



桜の花が青空を桃色に染める季節になりました。みなさま、春の風を感じておられますか？新年度を迎え、人生の新しいステージに進まれた方は希望を胸に心新たにされていると思います。宝塚市のスローガンは「わたしの舞台はたからづか」です。みなさまがそれぞれの舞台で活躍されることを期待します。

宝塚市は、3月24日に、芸術文化観光専門職大学と包括連携協定を締結しました。学長は宝塚市の政策アドバイザーの平田オリザ氏です。平田オリザ氏は、劇作家・演出家で、大学ではコミュニケーションや演劇について講義をされています。平田オリザ氏の活動の中で、教育分野として演劇的手法を用いた授業があります。宝塚市ではこれを「自己表現力向上事業」として、取り組んできました。私は、この授業の説明を聞き、宝塚市の子どもたちに「生きる力」を付けるために効果的であると考え、昨年度から市内全小学校で実施しています。

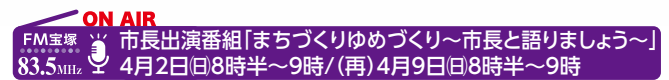
先日、良元小学校6年生で実施されたこの授業を視察してきました。今月号の広報たからづかでの授業を特集していますので、どんな風を実施しているかについては、ぜひ特集をご覧ください。この授業の中で、子どもたちは互いに認め合い、尊重し合い、協力し合い、自由に一つのシナリオを創り上げていました。強く印象に残ったエピソードがあります。あるチームの子どもたち

が演劇の中で、ジャンケンをする、何度もあいこを繰り返し最後に「どんだけ俺ら仲いいねん！」と言い、みんなであう。私は、このシナリオに込められた子どもたちの思いは「いつまでもみんなと仲良くしていきたい」ではないかと感じました。自由なシナリオには、子どもたちのメッセージがたくさん込められています。普段から、私たちが子どもたちのメッセージにどれだけ気付くか、それが大切だと思っています。

私が市長に就任してから、前職（弁護士）の強みを活かし、スクールロイヤー（学校現場の問題に関わる弁護士）制度を創設しました。学校現場はスクールロイヤーの支援を受けながら、子どもたちのメッセージ、特にSOSに気付く力を着実に養ってきています。

今後も、子どもたちのメッセージを敏感に受け止め、子どもたちの「生きる力」を培っていくような事業を推進していきます。

宝塚市長 山崎晴恵



テーマ：とんとこ祭りについて

ゲスト：とんとこ祭り 実行委員会 会長 阪上 良彦さん

## 広報モニターを募集します ID1016100

広報たからづかや市ホームページ、エフエム宝塚の番組などに意見・提案をいただくため、広報モニターを募集します。

- 活動内容** 2カ月に1回程度実施するアンケートへの回答
- 任期** 選任の日から来年3月31日まで
- 応募資格** 市内在住の18歳以上の人
- 謝礼** 全てのアンケートに回答した人に、宝塚ブランド「モノ・コト・バ宝塚」選定資源（3千円相当）を贈呈します。
- 募集期間** 4月20日(木)まで
- 募集人数** 20人
- 申し込み** メールにて住所・氏名、年齢、電話番号、メールアドレス、応募動機を記載して、広報課（m-takarazuka0003@city.takarazuka.lg.jp）へ送信。市ホームページから申し込み可。
- 選考方法** 居住地域・年齢・選任歴などを考慮して選出します。



応募はこちら

広報課 ☎77・2002 FAX74・6903

4月以降に  
出産祝品を贈呈します

ID1044829

市と包括連携協定を締結している生活協同組合コープこうべの協力により、4月1日(土)以降に出生の届出があった赤ちゃんにトートバッグ、おしりふき、携帯用魔法瓶を贈呈します。対象は出生届の「生まれた子の住所」が宝塚市の赤ちゃんです。市外で出生の届出をした人は、後日窓口サービス課または各SC・SSで受け取ってください。



※贈呈品は予告なく変更になることがあります。

健康推進課

☎86・0056 FAX83・2421